

ひょうごらくのうメモ

3

2024MAR



表紙：第42回 兵庫県ブラック&ホワイショウ より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

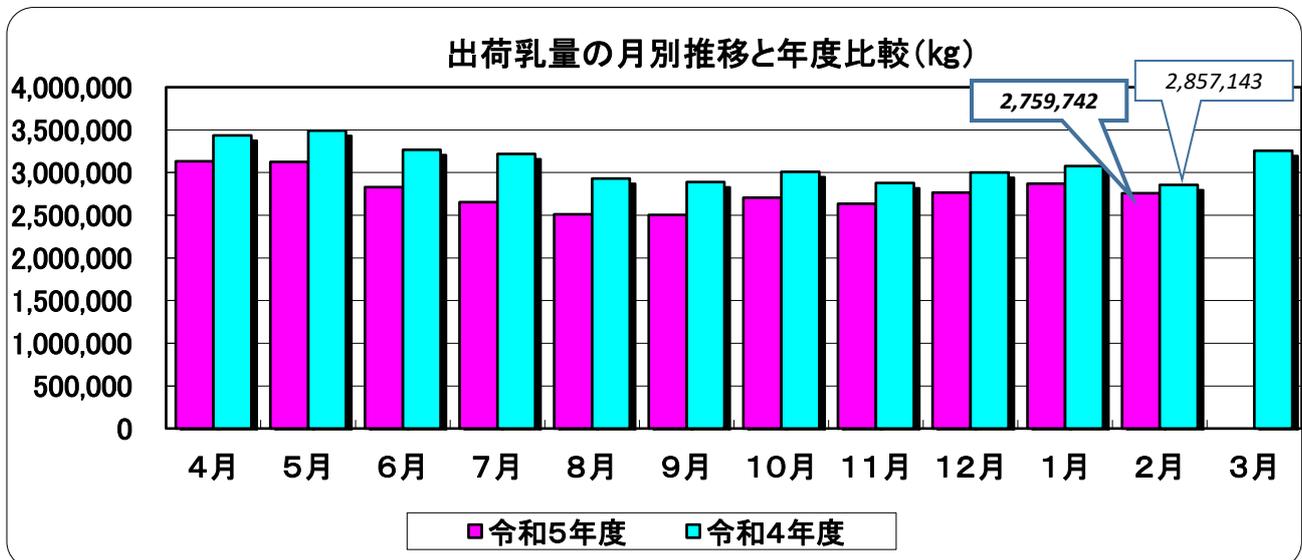
生乳生産統計

1. 全国(令和6年1月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.2	96.3
令和	5年	7月	616.5	95.5
令和	5年	8月	590.1	94.1
令和	5年	9月	573.4	94.6
令和	5年	10月	597.8	96.1
令和	5年	11月	578.9	97.0
令和	5年	12月	609.1	98.1
令和	6年	1月	620.6	99.4
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	6,082.4	96.2

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 6年2月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	495,828	95.7	5,695,616	89.5	19
播州地区	345,702	76.5	3,861,657	67.6	15
丹但地区	251,466	87.7	2,908,453	84.9	13
淡路地区	1,666,746	104.2	18,030,845	97.3	79
合 計	2,759,742	96.6	30,496,571	89.5	126



開催報告

第42回兵庫県ブラック&ホワイトショウ・GC、RGC決定

令和6年3月10日、淡路家畜市場において開催され次のとおりチャンピオンが決定しました。

【経産の部】

☆グランドチャンピオン

アイピース キングドック カーネーション号(903)
洲本市 相曾 勉さん

リザーブグランドチャンピオン

サニーフィールド T ブレクシー チーフET号(603)
京都府 (有)BIG TREE FARMさん

【未経産の部】

☆グランドチャンピオン

ワールドフェア エッセンス サイドムーン アポロ号(カーフ4)
洲本市 橋本 仁美さん

リザーブグランドチャンピオン

グッドリバー アヤメ ドラールRED号(301)
神戸市 吉川 稔英さん

出品者および関係者のみなさまお疲れ様でした。 兵庫県乳牛改良協議会

◆ 主な行事予定 ◆

3月

19日 近畿生乳販連理事会・臨時総会

21日 全酪連ブロック別会長・組合長会議(新大阪)

22日 内部管理職会議

25日 第9回理事会(WEB)

26日 全国酪農協会理事会(WEB)

PCAウェブセミナー

29日 年度末棚卸監査(小野・淡路SP・本所)

4月

1日 職員会議(WEB)

7日 第39回中国地区ブラック&ホワイトショウ
(全農岡山県本部)

11日 第53回西日本酪農青年女性会議・酪農発表大会(広島県)

戸数・頭数調査結果

管内飼養頭数及び農家戸数の状況

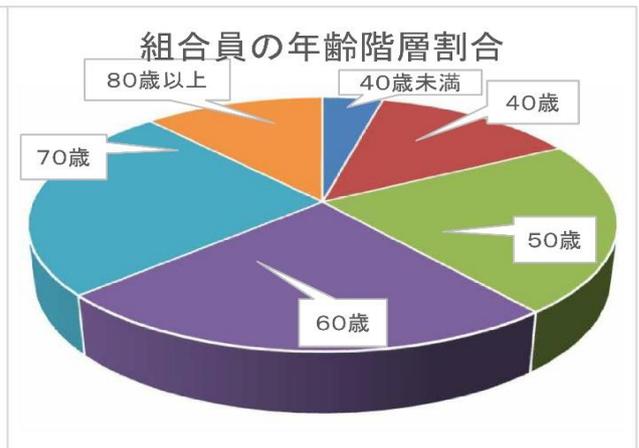
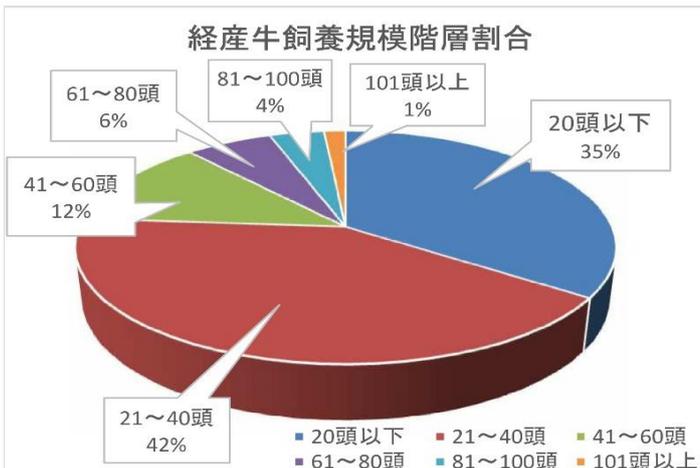
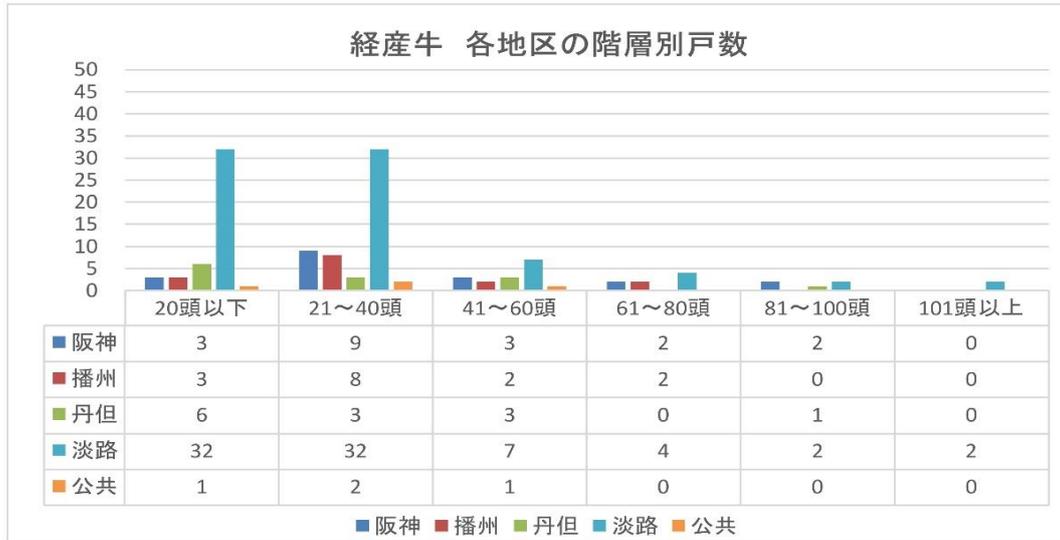
令和6年2月1日現在

飼養頭数

地区名	戸数	経産牛			未經産牛			乳用牛合計	肥育牛	総合計
		搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計			
阪神地域	19	675	90	765	133	229	362	1,127	7	1,134
播州地域	15	460	55	515	57	148	205	720	0	720
丹但地域	13	327	41	368	74	142	216	584	0	584
淡路地域	79	2,062	281	2,343	304	913	1,217	3,560	13	3,573
公共	3	68	9	77	17	55	72	149	0	149
合計	129	3,592	476	4,068	585	1,487	2,072	6,140	20	6,160
前回調査増減	▲ 6	▲ 16	▲ 108	▲ 124	▲ 134	▲ 14	▲ 148	▲ 272	2	▲ 270

経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神	播州	丹但	淡路	公共	合計
20頭以下	3	3	6	32	1	45
21～40頭	9	8	3	32	2	54
41～60頭	3	2	3	7	1	16
61～80頭	2	2	0	4	0	8
81～100頭	2	0	1	2	0	5
101頭以上	0	0	0	2	0	2
合計	19	15	13	79	4	130



参考情報

淡路家畜市場情報

令和6年2月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	20	54,065	108,900	1,100			57		
		前回	25	46,904	105,600	3,300			59	7,161	15.3%
		前年	10	71,060	201,300	4,400			56	-16,995	-23.9%
	オス	今回	13	74,038	136,400	1,100			56		
		前回	17	51,765	103,400	1,100			56	22,273	43.0%
		前年	14	94,364	199,100	2,200			55	-20,326	-21.5%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	4	10,450	16,500	4,400			55		
		前回	2	14,850	15,400	14,300			55	-4,400	-29.6%
		前年	5	6,160	11,000	3,300			51	4,290	69.6%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和6年1月第4金曜日・前年は令和5年2月第2金曜日

令和6年2月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	13	84,700	123,200	46,200			56		
		前回	20	54,065	108,900	1,100			57	30,635	56.7%
		前年	10	109,230	171,600	22,000			57	-24,530	-22.5%
	オス	今回	17	79,847	145,200	12,100			56		
		前回	13	74,038	136,400	1,100			56	5,809	7.8%
		前年	16	103,950	200,200	1,100			53	-24,103	-23.2%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	18,700	18,700	18,700			56		
		前回	4	10,450	16,500	4,400			55	8,250	78.9%
		前年	6	9,717	20,900	1,100			48	8,983	92.4%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和6年2月第2金曜日・前年は令和5年2月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし		46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	73,165	16,178
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,403	15,252
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和6年2月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（和・和系・他）				初妊牛（和・和系・他）				経産牛（和・和系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	2/1					623	1,001	267	682	59	660	166	419
北見	2/2	299	620	55	415	6	584	410	489				
釧路	2/5	237	576	6	406								
根室	2/8					317	989	275	683				
豊富	2/9					344	794	297	579	14	473	227	334
十勝	2/13	486	581	6	340								
釧路	2/14					304	934	330	660	1	415	415	415
十勝	2/15					611	978	336	751	79	761	133	442
北海道	2/16	65	468	23	315	97	835	147	598	5	519	189	408
北見	2/28					371	854	220	626	12	340	122	232
根室	2/29					445	1,005	220	684				
合計	11回	1,087	620	6	374	3,118	1,005	147	673	170	761	122	409
前年同月成績	9回	882	426	12	263	2,827	1,125	67	566	217	659	33	312
前月合計成績	7回	463	524	32	354	2,277	1,032	127	620	65	670	190	438

ホクレン乳牛市場開催日程

3月1日(金)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)	4月8日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)
3月8日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)	4月11日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成
3月8日(金)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津) 育成	4月12日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)
3月11日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成	4月12日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間) 育成
3月14日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)	4月15日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛) 育成
3月15日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)	4月19日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)
3月20日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)	4月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)
3月21日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)	4月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)
3月22日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)	4月24日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)
3月28日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富) 育成	4月25日(木)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所 (問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和6年3月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	横這い	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で95.1%、累計で92.8%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となり、道内の平均相場は大きく跳ね上がったものの、管内の乳牛市場相場は横這いで推移していることから、当管内の庭先購買においては、横這いで推移するものと予想されます。雌雄選別腹の資源状況としては、依然として少ないですが、高能力牛が多い地域でもあり、定期的に庭先購買を行っておりますので良質な搾乳用素牛をご案内できると思われます。
	初妊牛	6.0~7.0	横這い	
	経産牛	4.5~5.5	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	強含み	根釧管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.9%、累計で96.5%、中標津管内月計で103.0%、累計で97.4%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。2月の管内乳牛市場では需要の高まる、春分挽腹の上場が中心となり、メガ・ギガファームの導入意欲も高いことから、道内外の導入も重なり高値の相場となりました。3月の庭先購買は2月と同様に強含みになると予想されます。資源状況につきましては、先月と同様に雌雄選別腹が少ない状況が続いており、育成牛は、来年度の春分挽対象にすることが可能な牛が中心となることから需要が多く、やや強含みで見込まれます。
	初妊牛	6.5~7.5	強含み	
	経産牛	5.0~5.5	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.7~4.7	やや強含み	帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.9%、累計で95.6%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。管内酪農家の導入需要が高まっていることや、メガ・ギガファームの導入が増加していることから、先月同様、更に引き合いが強く相場が押し上げられることが見込まれます。腹別ではF1腹の人氣が高く、和牛受精脚移履腹と大差がなくなっています。また、雌雄選別腹は引き続き資源不足となっており、牛についても即戦力となる牛の需要が高く、生産意欲が高まっていることが感じ取れます。育成牛については、特に春生まれの牛においては、引き合い強く、相場は堅調に推移しております。
	初妊牛	6.5~7.5	強含み	
	経産牛	5.0~5.5	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	強含み	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で97.8%、累計で95.4%、北見管内月計で102.2%、累計で96.0%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。春分挽腹中心となるため需要が集中し、相場は堅調に推移すると見込まれます。腹別では雌雄選別腹とF1腹での価格差はそれほどありませんが、雌雄選別腹については、自家保有する酪農家が多い傾向から、出回り資源が少なくない状況です。育成牛・経産牛に関しては、出回り頭数が減少していることから、高値で取引されるものと見込まれます。
	初妊牛	6.0~7.0	横這い	
	経産牛	4.8~5.8	やや強含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	強含み	道内の2月中旬までの生乳生産量前年比は100.7%、累計で96.1%の実績となっております。例年より暖かい冬となっており、春が早く来る予感がしている北海道となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となり、道内外の需要が高まり相場は先月から更に更に上げ基調を見込んでおります。昨年の猛暑の影響を受けているため、特に5月分挽腹の資源が不足しており全国的に購買意欲が増していることに加え、道内での生産意欲も増していることから自家保留も増え、販売向けの頭数自体も減少傾向にあります。夏分挽腹が動き出す時期まではこの相場は継続することが見込まれるため、今後、相場状況・資源状況を注視しながら情報発信させて頂きます。導入計画がございましたらお早めのご注文宜しくお願い致します。
	初妊牛	6.5~7.5	強含み	
	経産牛	5.0~5.5	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選苗購買による予想相場です。

庭先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和6年3月11日

輸入粗飼料の情勢

全 酪 連
購買生産指導部
購買推進課

北米コンテナ船情勢

現在も北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールに乱れが発生しており、状況は好転していません。中でもPNW（太平洋岸北西部）では頻繁にスケジュール変更が発生し、カットオフ（輸出港のコンテナヤードへの搬入期限日時）直前に本船スケジュールが早まるケースが多発しており、突然の変更に輸出業者も作業が追いつかず船腹予約を後ろ倒しにする状況が増加しています。本船の船腹予約状況についても満船が続いており、一度スケジュールを後ろ倒しにしても翌週の船腹確保ができず、数週間後の船腹予約となることも多く、貨物の遅れに滑車をかけている状況です。

降水量不足の懸念があるパナマ運河では引き続き通行する船舶の通航隻数の制限を行っていますが、雨季に入る4月末までは現在の制限を継続する見込みです。

スエズ運河近くの紅海ではイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が続き、過去3ヶ月で40隻以上が標的となっています。スエズ運河経由の航路の運航再開を検討していた一部の船会社も状況が長引くと判断し、喜望峰ルートで欧州と中東を結ぶ新航路を開始するなどスエズ運河を経由せず、現況を改善する対策を行っていますが、引き続き世界の物流状況の回復までは時間がかかる見込みです。

ビートパルプ

【米国】

主産地であるノースダコタ州やミネソタ州では例年より温暖な気候が続いています。2月は記録的な高温に見舞われたことで、屋外で保管されている砂糖大根の品質劣化が進み、廃棄量が増えたことでビートパルプの生産量は減少する見込みです。3月も温暖な気候が続くことが予測されており、更なる生産量の減少が懸念されています。

アルファルファ

ワシントン州やオレゴン州といったPNW地域（太平洋岸北西部）では引き続き、上級品の引き合いが強い状況が続いています。一部の生産農家では降雨や降雪により品質が劣化した低級品在庫を抱えていますが、輸出向けには適さない品質のため米国

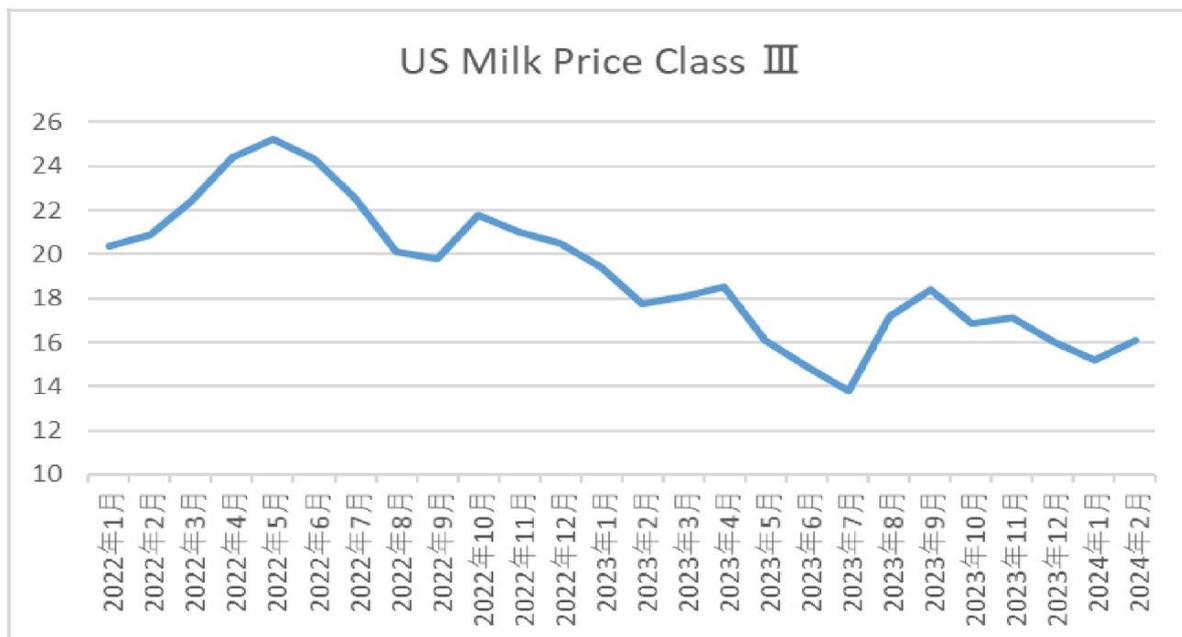
内酪農家向けに出荷される見通しです。

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、2月以降も降雨が続いており、1番刈の収穫作業に遅れが発生しています。品質は降雨により刈取り適期を逃した影響で、中級品の発生が多くなる見通しです。産地当局から発表された、2月15日付けのインペリアルバレーにおけるアルファルファの作付面積は前年同期比96%となる146,577エーカーとなっています。

中国向けも昨年は上海港に多くの在庫を保有していましたが、在庫消化に目途が立っています。現在、中国乳価は低迷しており、今後すぐに引き合いが強まる可能性は低い見通しですが、今後の動向には注視が必要です。

米国乳価について

USDA（米国農務省）の発表によると、米国酪農家の乳価の指標となるClass III乳価は2022年5月には100ポンドあたり25.21ドルまで上昇しましたが、アジア諸国やメキシコでの需要減退により米国産乳製品の輸出が減少していることが影響し、現在では100ポンドあたり16.08ドルとなっています。乳価の低迷により米国内の酪農家は積極的に買付をすることができず、アルファルファの産地相場は落ち着いていますが、中東やサウジアラビアといった他国の動向含めて注視が必要です。



出典：USDA 2022年1月～2024年全米平均クラスⅢ乳価
単位：米国ドル/100ポンド

スーダングラス

24年産の播種開始は3月上旬の見込みです。24年産の作付面積は23年産価格軟化や日本の需要減少により、生産農家の意欲も低下しているため減少すると予想されています。生産農家も上昇した生産コストを補うために品質重視ではなく、収量重視で考えていることから中～低級品の生産が主になるのではとの声も出ています。

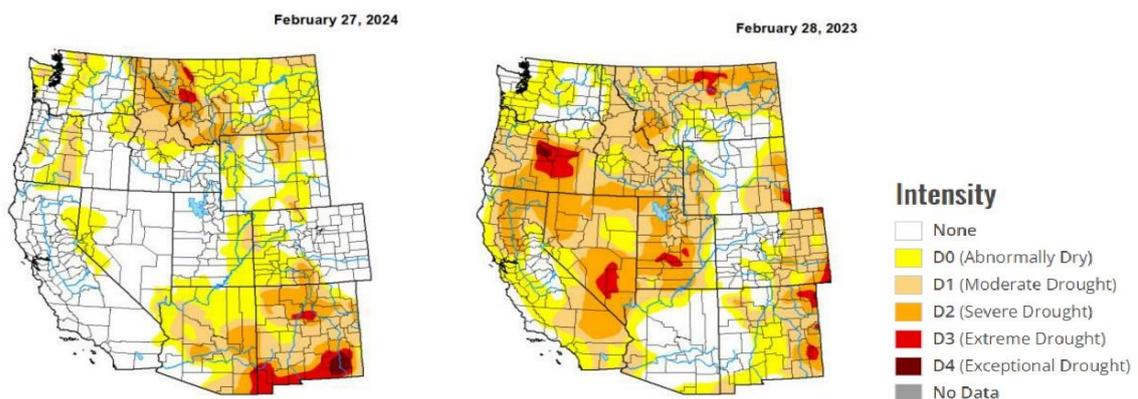
日本向けの需要に対しては未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため供給力に懸念はないと思われます。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

23年産の相場価格はミード湖の水位上昇による水不足の解消、干ばつ状況も緩和されたため軟調に推移しました。米国当局が2月27日に発表した米国西海岸における干ばつ状況は昨年同時期と比べて改善しています。

カリフォルニア州南部インペリアルバレーの灌漑局から発表となった2月15日時点の作付面積は21,378エーカー（昨年同時期22,014エーカー）、前年同時期比97%となっています。依然として米国内需からの引き合いは少ないものの、日本や韓国向けの出荷は安定している状況です。24年産の1番刈収穫に向け圃場への散水作業が3月中下旬頃より開始される見通しです。

ファロープログラム（休耕地政策）について現地の最新情報を総合的に判断すると、現時点で実施するかは不透明な状況です。仮に実施された場合でもこの政策に参加するかは生産農家の任意であり、また産地価格を形成する要素は他にも多数あることから、ファロープログラムが産地相場の高騰に直結するとは言えず冷静に情勢を見ていく必要があります。



（西海岸の干ばつ状況の比較。色が濃くなるほど、干ばつ状況が厳しい。）

左：2024年2月27日 右：2023年2月28日

出典：National Drought Mitigation Center

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

オレゴン州主要積み出し港のポートランド港で慢性的な空コンテナ不足による船積み苦戦により一時的に日本からの引き合いが増加しましたが、現在は軟化しています。

韓国向けについては韓国国内の飼料費や生産資材費の上昇により肥育農家の経営状況も芳しくないため、輸入ストローの代替として国産稲わらを使う動きがあり、需要は減退しています。産地については降雨もあり土壌環境も良好で、24年産の作付面積は増加する見通しです。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区では1月は寒波の影響で気温が下がりましたが、2月は春先並の気候となりカナダ国内酪農家向けの越冬用需要が軟化したことから、引き合いは例年より少なくなっています。

カナダ国内と輸出向け需要は減退していることから24年産の作付面積は減少する見通しです。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

23年産オーツハイの作況は全豪全体で降雨が少なかった影響により大半が上級品の発生で、中～低級品の発生は限定的となりました。現在、豪州では猛暑や豪雨、強風といった異常気象が続き、長時間の停電が発生している地域もあります。また、南東部のビクトリア州では猛烈な熱波に見舞われたことで山火事が発生し、避難指示が出るほど甚大な被害が発生しています。

輸出需要は安定していますが、昨年ランピースキン病（全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状が出る伝染病）の流行で需要が減退した韓国からの引き合いが回復しています。豪州の各輸出業者の輸出認可が更新された中国向けの輸血量についても月を重ねるごとに増加しており、今後の動きには注視が必要です。

豪州ストライキについて

Maritime Union(港湾労働者組合)とDP World terminal(港湾施設)間での労使交渉は2月2日に原則4年間の新たな協定を締結し、終了しています。ストライキによる影響で本船スケジュールの乱れが懸念されていましたが、豪州国内での港湾作業が通常運転に戻ったことで、入船が早まるケースも出てきています。

以上